



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785
 定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	471	10.1	△1,209	—	△1,228	—	△1,290	—
2023年12月期	428	△4.4	△798	—	△796	—	△812	—

（注）包括利益 2024年12月期 △1,290百万円（—％） 2023年12月期 △828百万円（—％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△36.74	—	△128.3	△60.8	△256.5
2023年12月期	△25.56	—	△51.8	△29.9	△186.4

（参考）持分法投資損益 2024年12月期 一百万円 2023年12月期 一百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	1,669	733	43.9	17.59
2023年12月期	2,373	1,279	53.9	39.81

（参考）自己資本 2024年12月期 732百万円 2023年12月期 1,279百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	△1,299	△10	567	1,126
2023年12月期	△586	△15	134	1,867

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400	△15.2	△670	—	△680	—	△680	—	△15.88

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	41,625,512株	2023年12月期	32,128,012株
2024年12月期	286株	2023年12月期	286株
2024年12月期	35,118,450株	2023年12月期	31,780,063株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	469	9.8	△1,167	—	△1,178	—	△1,339	—
2023年12月期	427	4.0	△735	—	△728	—	△853	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	△38.15	—
2023年12月期	△26.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2024年12月期	1,615	—	686	—	42.4	—	16.45	
2023年12月期	2,371	—	1,281	—	54.0	—	39.88	

(参考) 自己資本 2024年12月期 684百万円 2023年12月期 1,281百万円

2. 2025年12月期の個別業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	400	△14.9	△590	—	△590	—	△13.78	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表及び主な注記	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤）、緑内障治療剤「グラナテック[®]点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」、緑内障治療剤「グラアルファ[®]配合点眼液」）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。特に、「DW-1002」については、販売数量の増加並びに円安の影響を受け、大幅な増収で推移いたしました。

開発パイプラインについては、自社開発品である緑内障治療剤「H-1337」が8月に米国後期第Ⅱ相臨床試験の被験者への投与を完了し、11月にトップラインデータ結果を発表いたしました。試験結果は良好で、有効性が確認され、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでしたので、第Ⅲ相臨床試験に向けた準備並びにライセンスアウト活動を進めてまいります。共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は1月に再申請を行いました。7月に審査完了報告通知を受領いたしました。現在、FDA指摘事項に適切に応答すべく、対応を進めております。また、再生医療用細胞製品「DWR-2206」は3月に国内第Ⅱ相臨床試験を開始し、7月に第一例目の被験者への移植を実施いたしました。その後の経過観察により第二例目以降の治験の継続に必要な安全性評価が得られましたので、さらに本試験を進め、12月に予定していた被験者への移植手術を全て完了いたしました。現在、評価・観察を進めております。その他、ライセンスアウト済み開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び大学等との共同研究を積極的に推進いたしました。

以上の結果、当連結会計年度においては、売上高は前期実績及び当初業績予想を上回って着地し、各開発パイプラインは順調に進捗いたしました。

売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計471百万円（前期比10.1%増）を計上し、売上原価に46百万円（前期比27.8%増）を計上しました。なお、「グラナテック」の日本については、9月にロイヤリティ受領期間が終了いたしました。

販売費及び一般管理費については、1,634百万円（前期比37.3%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」及び「DWR-2206」の開発費用の増加等により1,367百万円（前期比47.0%増）、その他販売費及び一般管理費が266百万円（前期比2.6%増）となりました。

これらにより、営業損失は1,209百万円（前期営業損失798百万円）、経常損失は営業外費用に新株発行費8百万円を計上したこと等により1,228百万円（前期経常損失796百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は特別損失に転換社債償還損60百万円を計上したこと等により1,290百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失812百万円）となりました。

なお、当連結会計年度における新薬候補化合物開発状況は次のとおりです。

①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先
DW-1002	ブリリアントブルー-G	ILM-Blue [®] 、TissueBlue [™]	内境界膜染色	欧州・米国等
	ブリリアントブルー-G／トリパンプルー	MembraneBlue-Dual [®]	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等
リパスジル塩酸塩水和物		グラナテック [®] 点眼液0.4%	緑内障・高眼圧症	日本、アジア (注)
リパスジル塩酸塩水和物／ブリモニジン酒石酸塩		グラアルファ [®] 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本

(注) 日本は9月にロイヤリティ受領期間が終了いたしました。アジアは一部地域についてロイヤリティを受領しております。

②開発パイプライン

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リパスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
DW-1002	ブリリアントブルーG	内境界膜染色	申請	中国	DORC
			第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	水晶体前囊染色	第Ⅲ相臨床試験	日本		
	ブリリアントブルーG／トリパンプルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国	DORC
DW-1001		眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337		緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT		帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206		水疱性角膜炎	第Ⅱ相臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発

(イ) DW-1002（単剤の対象疾患：内境界膜染色、水晶体前囊染色、配合剤の対象疾患：内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色）

本開発品は、国立大学法人九州大学の研究グループが発見したBBG250（Brilliant Blue G-250）という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤について、独占的ライセンスに基づき開発している開発品で、眼内にある内境界膜又は水晶体を保護するカプセルを一時的に安全に染色し、硝子体・白内障の手術を行いやすくするものです。当社は、2017年に本事業を譲受いたしました。

日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスをDutch Ophthalmic Research Center International B. V.（以下、「DORC」）に付与しており、DORCは2010年から欧州等において、硝子体手術時の内境界膜染色を対象とした単剤（ブリリアントブルーG）並びに硝子体手術時の内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色を対象とした配合剤（ブリリアントブルーG／トリパンプルー）を製造・販売しております。2020年には米国においても単剤の販売を開始し、現在は、欧州・米国を含む世界76の国と地域で販売されております。また、単剤は2023年5月に中国へ承認申請し、さらに、配合剤は7月に内境界膜及び網膜上膜染色を対象に米国でオーファンドラッグ指定を受けました。

国内については、わかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」）に独占的サブライセンスを付与しており、わかもと製薬は硝子体手術時の内境界膜染色、白内障手術時の水晶体前囊染色を対象として、製造販売承認の取得に向けて開発を進めております。

(ロ) リパスジル塩酸塩水和物

(a) グラナテック[®]点眼液0.4%（対象疾患：緑内障・高眼圧症）

本開発品は、プロテインキナーゼの一種であるRhoキナーゼを選択的に阻害するイソキノリンスルホンアミド化合物であり、眼圧下降作用により緑内障・高眼圧症を治療する点眼剤です。緑内障治療剤における世界初の作用機序を有しており、Rhoキナーゼを阻害することにより、線維柱帯－シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

当社は、2002年に本開発品の全世界の権利を興和株式会社（以下、「興和」）にライセンスアウトいたしました。その後は興和により臨床試験が進められ、2014年に緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されました。さらに、海外展開も進められ、アジア一部地域において上市されております。なお、日本については2024年9月にロイヤリティ受領期間が終了いたしました。

(b) K-321（対象疾患：フックス角膜内皮変性症）

Rhoキナーゼ阻害剤であるグラナテックは、眼内にあるキナーゼに作用する可能性があることが示唆されており、他眼科疾患への適応可能性が検討されておりました。適応拡大に向けた取り組みとして、2019年に米国第Ⅱ相臨床試験のIND申請（治験許可申請）がなされ、興和にてフックス角膜内皮変性症を適応症とした試験が行われました。その後、2022年に米国第Ⅲ相臨床試験が開始され、2023年3月に米国を含めたグローバル第Ⅲ相臨床試験が開始されました。フックス角膜内皮変性症は病態の進行にともない角膜内皮障害に至ります。重度の視覚障害を有する角膜内皮疾患のこれまでの治療法は角膜移植であり、有効な治療薬の開発が望まれています。

(c) グラアルファ[®]配合点眼液（対象疾患：緑内障・高眼圧症）

本開発品は、リパスジル塩酸塩水和物とブリモニジン酒石酸塩を含有する世界で初めての組み合わせ

の配合点眼剤です。2020年より、興和にて緑内障・高眼圧症を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験が行われ、2022年に国内上市されました。さらに、海外展開も進められ、アジア一部地域において承認取得されております。緑内障の治療は、多剤併用が標準的な治療法となりつつあります。本開発品により、アドヒアランスの向上が期待され、緑内障患者様の治療に貢献できるものと考えております。

(ハ) DW-1001 (対象疾患：非開示)

本開発品は、2015年に英国企業から導入した眼科用治療剤です。

他の疾患を適応症として既に市販されている化合物を眼科適応への適応拡大を目指す、いわゆるリポジショニングの手法での開発を目指しており、開発のコスト並びにリスクは相対的に低くなることが期待されます。

2019年に日本における独占の実施権をロート製薬株式会社（以下、「ロート製薬」）にライセンスアウトいたしました。ロート製薬は、非臨床試験を進め、2022年に国内第Ⅰ相臨床試験が良好な結果で終了いたしました。

(ニ) H-1337 (対象疾患：緑内障・高眼圧症)

本開発品は、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とする当社化合物ライブラリーのシード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を対象疾患とする開発品です。当社初となる自社臨床開発を行っており、2018年に米国第Ⅰ相/前期第Ⅱ相臨床試験を良好な結果で終了いたしました。その後、2023年8月に米国後期第Ⅱ相臨床試験の投与を開始し、2024年8月に投与完了いたしました。試験結果は良好で、本開発品の有効性が確認され、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでしたので、第Ⅲ相臨床試験に向けた準備並びにライセンスアウト活動を進めてまいります。

また、適応拡大の研究を進めており、滲出型加齢黄斑変性に対する治療効果、並びに肺高血圧に対する治療効果も動物試験において確認されております。

(ホ) DW-5LBT(対象疾患：帯状疱疹後の神経疼痛)

本開発品は、イオン液体を利用した株式会社メドレックス（以下、「メドレックス」）の独自技術 ILTS (Ionic Liquid Transdermal System) を用いた新規のリドカインテープ剤であり、リドカインパップ剤 Lidodermの市場をターゲットとして開発が進められております。メドレックスが帯状疱疹後の神経疼痛治療薬として開発を進めており、当社は2020年に共同開発を開始いたしました。2020年に米国FDA（米国食品医薬品局）に承認申請いたしました。審査完了報告通知を受領いたしました。その後、再申請及びFDAの指摘事項への対応を重ね、現在、2024年7月に受領した審査完了報告通知の対応を行っており、再申請を目指す方針です。

(ヘ) DWR-2206(対象疾患：水疱性角膜炎)

本開発品は、水疱性角膜炎を適応症とした再生医療用細胞製品で、培養ヒト角膜内皮細胞とROCK阻害剤を含有した懸濁液を前房内に注入し、角膜内皮の再生の治療に用いられます。アクチュアライズ株式会社が開発を進めており、当社は2022年に共同開発を開始いたしました。当社初となる再生医療品であり、2024年3月に国内第Ⅱ相臨床試験を開始し、12月に予定していた被験者への移植手術を全て完了いたしました。現在、評価・観察を進めております。

③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、大学等との共同研究においては、当社開発品の適応拡大や主に眼科関連疾患を対象に複数のプロジェクトを積極的に進めております。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から703百万円減少し、1,669百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から662百万円減少し、1,475百万円となりました。主な要因は、流動資産のその他が56百万円増加した一方で、現金及び預金が741百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から41百万円減少し、194百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が41百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から158百万円減少し、935百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から

61百万円減少し、132百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が9百万円増加した一方で、未払金が76百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から96百万円減少し、802百万円となりました。この要因は、転換社債型新株予約権付社債が606百万円減少した一方で、社債が302百万円、長期借入金が206百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から545百万円減少し、733百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金が各々371百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が1,290百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は43.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ741百万円減少し、1,126百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,299百万円（前期は586百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失1,288百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10百万円（前期は15百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は567百万円（前期は134百万円の収入）となりました。これは主に転換社債の償還による支出666百万円及び社債の償還による支出357百万円があった一方で、新株予約権の行使による株式の発行による収入710百万円、社債の発行による収入660百万円及び長期借入れによる収入226百万円があったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

売上高は、各上市品のロイヤリティ収入及び「DW-1002」のマイルストーン収入等により400百万円（当期売上高471百万円）を見込んでおります。

研究開発費は、通常の新薬候補品創出に向けた研究開発活動に加え、「H-1337」の米国第Ⅲ相臨床試験に向けた準備費用及び「DW-5LBT」の承認取得による支払マイルストーン等により760百万円（当期研究開発費1,367百万円）を見込んでおります。

その結果、営業損失は670百万円（当期営業損失1,209百万円）、経常損失は680百万円（当期経常損失1,228百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は680百万円（当期親会社株主に帰属する当期純損失1,290百万円）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保するとともに、必要に応じて新たな資金調達等を実施することも検討してまいります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関からの借入、第三者割当による新株予約権及び社債の発行等、適時に実施している資金調達により、当連結会計年度末において1,126百万円の現金及び預金残高を有し、翌連結会計年度の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,867,264	1,126,035
売掛金	117,144	125,023
貯蔵品	87,863	101,961
その他	65,687	122,361
流動資産合計	2,137,959	1,475,382
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,727	8,727
減価償却累計額	△5,210	△5,453
建物(純額)	3,516	3,274
工具、器具及び備品	102,666	109,498
減価償却累計額	△96,172	△101,580
工具、器具及び備品(純額)	6,493	7,917
有形固定資産合計	10,010	11,192
無形固定資産		
契約関連無形資産	82,285	41,142
その他	4,224	3,290
無形固定資産合計	86,510	44,432
投資その他の資産		
投資有価証券	141,501	142,806
その他	8,690	8,236
貸倒引当金	△11,301	△12,606
投資その他の資産合計	138,890	138,436
固定資産合計	235,411	194,061
資産合計	2,373,371	1,669,444
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,524	19,048
未払金	161,362	84,904
未払法人税等	11,708	14,876
その他	11,412	13,818
流動負債合計	194,008	132,646
固定負債		
長期借入金	269,476	476,428
社債	—	302,500
転換社債型新株予約権付社債	606,122	—
その他	24,000	24,000
固定負債合計	899,598	802,928
負債合計	1,093,606	935,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,617	1,203,277
資本剰余金	2,889,857	3,261,516
利益剰余金	△2,442,372	△3,732,678
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,279,101	732,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	△34
その他の包括利益累計額合計	△36	△34
新株予約権	699	1,788
純資産合計	1,279,764	733,869
負債純資産合計	2,373,371	1,669,444

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	428,364	471,580
売上原価	36,666	46,843
売上総利益	391,697	424,736
販売費及び一般管理費		
研究開発費	930,506	1,367,769
その他	259,749	266,565
販売費及び一般管理費合計	1,190,256	1,634,335
営業損失(△)	△798,558	△1,209,598
営業外収益		
受取利息	10	76
為替差益	6,713	1,637
消費税差額	0	345
その他	11	14
営業外収益合計	6,735	2,073
営業外費用		
支払利息	2,490	5,210
株式交付費	1,396	2,468
新株発行費	—	8,686
貯蔵品廃棄損	—	2,748
その他	653	1,458
営業外費用合計	4,540	20,571
経常損失(△)	△796,363	△1,228,097
特別損失		
投資有価証券評価損	12,992	—
貸倒引当金繰入額	11,301	—
減損損失	6,146	—
転換社債償還損	—	60,612
特別損失合計	30,439	60,612
税金等調整前当期純損失(△)	△826,803	△1,288,709
法人税、住民税及び事業税	1,595	1,595
法人税等合計	1,595	1,595
当期純損失(△)	△828,398	△1,290,305
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△15,987	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△812,411	△1,290,305

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純損失(△)	△828,398	△1,290,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185	1
その他の包括利益合計	185	1
包括利益	△828,212	△1,290,303
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△812,225	△1,290,303
非支配株主に係る包括利益	△15,987	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,244	2,772,484	△1,629,961	—	1,856,767
当期変動額					
新株の発行	117,373	117,373			234,746
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△812,411		△812,411
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	117,373	117,373	△812,411	△0	△577,665
当期末残高	831,617	2,889,857	△2,442,372	△0	1,279,101

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△222	△222	943	15,987	1,873,475
当期変動額					
新株の発行					234,746
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△812,411
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	185	185	△244	△15,987	△16,045
当期変動額合計	185	185	△244	△15,987	△593,711
当期末残高	△36	△36	699	—	1,279,764

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	831,617	2,889,857	△2,442,372	△0	1,279,101
当期変動額					
新株の発行	371,659	371,659			743,319
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,290,305		△1,290,305
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	371,659	371,659	△1,290,305	—	△546,986
当期末残高	1,203,277	3,261,516	△3,732,678	△0	732,115

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△36	△36	699	1,279,764
当期変動額				
新株の発行				743,319
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△1,290,305
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1	1	1,089	1,090
当期変動額合計	1	1	1,089	△545,895
当期末残高	△34	△34	1,788	733,869

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△826,803	△1,288,709
減価償却費	48,721	49,329
減損損失	6,146	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,301	1,305
株式報酬費用	15,569	17,003
転換社債償還損	—	60,612
受取利息	△10	△76
支払利息	2,490	5,210
支払手数料	483	152
為替差損益 (△は益)	△961	△1,570
株式交付費	1,396	2,468
新株発行費	—	8,686
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,992	—
売上債権の増減額 (△は増加)	53,610	△7,879
棚卸資産の増減額 (△は増加)	22,594	△14,098
未払金の増減額 (△は減少)	95,242	△74,766
その他	△25,855	△50,059
小計	△583,081	△1,292,392
利息及び配当金の受取額	10	76
利息の支払額	△2,158	△5,197
法人税等の支払額	△1,593	△1,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	△586,821	△1,299,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,026	△9,025
無形固定資産の取得による支出	△2,912	△1,100
差入保証金の増減額 (△は増加)	△316	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,254	△10,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	166,000	226,000
長期借入金の返済による支出	△120,000	△9,524
社債の発行による収入	—	660,000
社債の償還による支出	—	△357,500
転換社債の償還による支出	—	△666,734
新株予約権の発行による収入	—	6,370
新株予約権の行使による株式の発行による収入	88,994	710,030
自己株式の取得による支出	△0	—
自己新株予約権の取得による支出	—	△699
支払手数料の支払額	△527	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,466	567,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	205	266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△467,404	△741,229
現金及び現金同等物の期首残高	2,334,668	1,867,264
現金及び現金同等物の期末残高	1,867,264	1,126,035

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、創業事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

オランダ	日本	その他	合計
277,698	150,640	25	428,364

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	277,698
興和株式会社	140,336

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

オランダ	日本	その他	合計
335,476	136,097	5	471,580

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	335,476
興和株式会社	126,036

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載していません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	39.81円	17.59円
1株当たり当期純損失(△)	△25.56円	△36.74円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△812,411	△1,290,305
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△812,411	△1,290,305
普通株式の期中平均株式数(株)	31,780,063	35,118,450
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回無担保転換社債型新株予約権付社債 新株予約権の数33個 (普通株式 3,276,352株) 第11回新株予約権 新株予約権の数13,990個 (普通株式 1,399,000株)	第12回新株予約権 新株予約権の数36,500個 (普通株式 3,650,000株)

(重要な後発事象)

新株予約権行使による新株式の発行

当社が2024年6月3日に発行いたしました第三者割当による第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の一部について、2025年1月1日から2025年2月7日までの間に以下のとおり行使されております。なお、第12回新株予約権（行使価額修正条項付）に関しましては、2025年2月7日にすべての行使が完了いたしました。

第12回新株予約権

1. 新株予約権の行使個数		36,500個
2. 発行した株式の種類及び株式数	普通株式	3,650,000株
3. 資本金の増加額		209,744千円
4. 資本準備金の増加額		209,744千円

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754,446	1,072,785
売掛金	117,144	124,941
貯蔵品	85,107	101,953
前渡金	33,292	35,667
前払費用	17,269	21,439
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
その他	29,087	64,605
貸倒引当金	—	△100,000
流動資産合計	2,136,347	1,421,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,516	3,274
工具、器具及び備品	6,493	7,917
有形固定資産合計	10,010	11,192
無形固定資産		
ソフトウェア	4,151	3,217
契約関連無形資産	82,285	41,142
その他	72	72
無形固定資産合計	86,510	44,432
投資その他の資産		
投資有価証券	141,501	142,806
関係会社株式	0	0
その他	8,690	8,236
貸倒引当金	△11,301	△12,606
投資その他の資産合計	138,890	138,436
固定資産合計	235,411	194,061
資産合計	2,371,758	1,615,455
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,524	19,048
未払金	161,034	84,533
未払費用	5,786	4,591
未払法人税等	11,090	14,257
預り金	2,828	3,647
流動負債合計	190,263	126,077
固定負債		
長期借入金	269,476	476,428
社債	—	302,500
転換社債型新株予約権付社債	606,122	—
その他	24,000	24,000
固定負債合計	899,598	802,928
負債合計	1,089,862	929,005

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,617	1,203,277
資本剰余金		
資本準備金	2,930,959	3,302,619
資本剰余金合計	2,930,959	3,302,619
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,481,343	△3,821,200
利益剰余金合計	△2,481,343	△3,821,200
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,281,233	684,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36	△34
評価・換算差額等合計	△36	△34
新株予約権	699	1,788
純資産合計	1,281,896	686,449
負債純資産合計	2,371,758	1,615,455

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	427,968	469,923
売上原価	36,666	46,843
売上総利益	391,301	423,080
販売費及び一般管理費		
研究開発費	895,142	1,351,067
その他	231,645	239,118
販売費及び一般管理費合計	1,126,787	1,590,185
営業損失(△)	△735,486	△1,167,105
営業外収益		
受取利息	1,009	1,070
為替差益	6,713	1,637
受取手数料	3,600	3,600
その他	5	352
営業外収益合計	11,328	6,660
営業外費用		
支払利息	2,490	5,210
株式交付費	1,396	2,468
新株発行費	—	8,686
その他	610	1,458
営業外費用合計	4,497	17,823
経常損失(△)	△728,655	△1,178,267
特別損失		
投資有価証券評価損	12,992	—
貸倒引当金繰入額	11,301	100,000
転換社債償還損	—	60,612
関係会社株式評価損	99,278	—
特別損失合計	123,572	160,612
税引前当期純損失(△)	△852,228	△1,338,880
法人税、住民税及び事業税	977	977
法人税等合計	977	977
当期純損失(△)	△853,205	△1,339,857

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	714,244	2,813,586	2,813,586	△1,628,138	△1,628,138	—	1,899,692
当期変動額							
新株の発行	117,373	117,373	117,373				234,746
当期純損失(△)				△853,205	△853,205		△853,205
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	117,373	117,373	117,373	△853,205	△853,205	△0	△618,459
当期末残高	831,617	2,930,959	2,930,959	△2,481,343	△2,481,343	△0	1,281,233

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△222	△222	943	1,900,413
当期変動額				
新株の発行				234,746
当期純損失(△)				△853,205
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	185	185	△244	△58
当期変動額合計	185	185	△244	△618,517
当期末残高	△36	△36	699	1,281,896

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	831,617	2,930,959	2,930,959	△2,481,343	△2,481,343	△0	1,281,233
当期変動額							
新株の発行	371,659	371,659	371,659				743,319
当期純損失(△)				△1,339,857	△1,339,857		△1,339,857
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	371,659	371,659	371,659	△1,339,857	△1,339,857	—	△596,538
当期末残高	1,203,277	3,302,619	3,302,619	△3,821,200	△3,821,200	△0	684,695

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計		
当期首残高	△36	△36	699	1,281,896
当期変動額				
新株の発行				743,319
当期純損失(△)				△1,339,857
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1	1	1,089	1,090
当期変動額合計	1	1	1,089	△595,447
当期末残高	△34	△34	1,788	686,449